

製品名: IκB-α ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21140**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:36kD;Observed MW:36kD

抗原情報

遺伝子名	NFKBIA
別名	NF-kappa-B inhibitor alpha;I-kappa-B-alpha;IκB-alpha;IkappaBalpha;Major histocompatibility complex enhancer-binding protein MAD3;
遺伝子 ID	4792.0
SwissProt ID	P25963
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

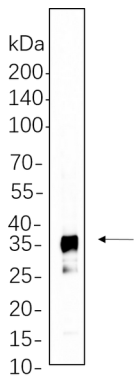
背景

細胞局在: 細胞質、核。この遺伝子は、複数のアヌクリン反復ドメインを含む NF- κ B 阻害因子ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は REL 二量体と相互作用し、炎症反応に関与する NF- κ B/REL 複合体を阻害します。コードされているタンパク質は、核局在シグナルと CRM1 を介した核外輸送を介して細胞質と核の間を移動します。この遺伝子の変異は、T 細胞免疫不全症を伴う常染色体優性遺伝性外胚葉性異形成症 (エクトデルマ・ディスプラシア・アハイドロティック) で発見されています。[RefSeq 提供、2011 年 8 月]

研究分野

-

画像データ



Jurkat 細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、膜を I κ B- α ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。